

第 28 回 CDM 理事会傍聴出席報告

2006 年 12 月 26 日

(2007 年 1 月 29 日一部修正)

社団法人海外環境協力センター

I. 理事会概要

1. 日時： 2006 年 12 月 12 日（火）～12 月 15 日（金）
（内 12 月 13 日～15 日が公開討議）
2. 場所： UNFCCC 事務局（ドイツ・ボン）
3. 議題：
 1. 理事会メンバーについて
 2. 議題の採択
 3. ワークプラン
 - a) 運営組織の認定
 - b) ベースライン・モニタリング計画の方法論
 - c) 植林・再植林プロジェクトに関する事項
 - d) 小規模 CDM プロジェクトに関する事項
 - e) CDM プロジェクト活動の登録に関する事項
 - f) CER 発行及び CDM 登録簿（レジストリ）に関する事項
 - g) 補助機関（SB）との協働
 4. CDM 管理計画及び予算に関する事項
 5. その他（(a) COP/MOP ガイダンス、(b) DNA との関係、(c) プロジェクトの地域分布、(d) DOE/AE との関係、(e) 利害関係者・各国・NGO との関係、(f) その他）
 6. 閉会



【ベースライン・モニタリング計画の方法論】

< 新規方法論 >

・承認：2 件

- AM0044：“Energy efficiency improvement projects: boiler rehabilitation or replacement in industrial and district heating sectors”（スコープ 1：エネルギー産業）
- AM0045：“Grid connection of isolated electricity systems”（スコープ 1：エネルギー産業）

・条件付承認：8 件（NM0161、NM0170、NM0172、NM0174、NM0176、NM0181、NM0185、NM0189）

・判定なし：1 件（NM0186）

< 承認済み方法論の修正要請 >

・修正要請承認：9 件（AM0002、AM0003、AM0011、AM0013、AM0022、ACM0001、ACM0008、AM0028、ACM0010）

・修正要請不承認：1 件（AM0037）

< ガイダンスに関する事項 >

- ・「方法論ツール（MT）」及び「統合化ツール（CT）」の修正承認（「追加性証明・評価ツール」に関する検討（CT との整合性）は次回 EB29 へ先送り）
- ・プロジェクトの実施が、結果的に生産活動の附属書 I 国から非附属書 I 国への移転とつながる事項についての検討は、次回 EB29 へ先送り
- ・「個別のプロジェクト活動としてのプログラム活動の登録に関するガイダンス（第 1 版）」を承認

- ・「承認済み方法論の修正手続」の改訂を承認

【植林・再植林 (A/R) プロジェクトに関する事項】

< 新規 A/R 方法論 >

- ・承認：1 件
 - AR-AM0005：“Afforestation and reforestation project activities implemented for industrial and/or commercial uses”

- ・条件付承認：2 件 (ARNM0026、ARNM0028)

- ・不承認：2 件 (ARNM0013-rev、ARNM0030)

< 承認済み A/R 方法論の修正要請 >

- ・修正要請承認：1 件 (AR-AMS0001)

< ガイダンスに関する事項 >

- ・プロジェクト前 GHG 排出の取扱い (EB22 決定) について、ベースラインシナリオは A/R プロジェクト活動手続規則パラ 22(a)、(c)の内容に一致させることと確認
- ・「新 A/R 方法論開発のための技術的ガイドライン」を承認
- ・土地適格性の証明のための手続きについて、意見聴取の受付実施 (2007 年 1 月 1 日 ~ 2 月 21 日)
- ・「マーケットリーケージ」を A/RCDM プロジェクトには適用しないことを決定
- ・小規模 A/RCDM プロジェクトの上限値 (8ktCO_{2e}/年) の見直しに関して、COP/MOP2 要請 (SBSTA26 での議論のため、各国等からの意見提出を 2007 年 2 月 23 日まで受付) を確認

【小規模 CDM (SSC) プロジェクトに関する事項】

< 新規 SSC 方法論 >

- ・承認：1 件
 - AMS III.K.：“Avoidance of methane release from charcoal production by shifting from pit method to mechanized charcoaling process”

< 承認済み SSC 方法論の修正要請 >

- ・修正要請承認：11 件 (AMS III.G、AMS I.D、AMS I.C、AMS I.A、AMS II.D、AMS III.H、AMS III.I、AMS III.F、AMS II.C、AMS II.E、AMS II.F)

< ガイダンスに関する事項 >

- ・新タイプ III カテゴリーの開発停止を決定 (当面の措置として規定されていたタイプ III カテゴリーの制限値 (25ktCO_{2e}/年) について、COP/MOP2 決定を受け、制限値の廃止を決定)
- ・「CDM 用語集」の修正 (“Retrofit”, “A project activity with more than one component”) についての定義等を追加)
- ・同じタイプの属するプロジェクトサイズは小規模 CDM の上限値を超えてはならないことに合意 (タイプ I：15MW、タイプ II：60GWh/年、タイプ III：60ktCO_{2e})
- ・バイオマスプロジェクトのリーケージに関するガイドラインの修正を承認
- ・非再生可能バイオマスから再生可能バイオマスプロジェクトへの転換に関し、COP/MOP2 からの検討要請を留意 (意見聴取 (パブリックコメント) を 2007 年 1 月 15 日から 4 月 16 日まで受付)

【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

< レビュー要請案件 (計 20 件) (4 桁の数値はプロジェクト参照番号) >

- ・登録承認：7 件
 - “Onyx Alexandria Landfill Gas Capture and Flaring Project” (0508)
 - “OSIL –Waste Heat Recovery Based Captive Power Project” (0515)
 - “Saihanba East 45.05 MW Windfarm Project” (0561)

- “11.35 MW Grid Connected Wind Electricity Project at Pohra (Rajasthan) in India” (0570)
- “10.6 MW wind farm at Village Badabagh, District Jaisalmer, Rajasthan” (0571)
- “Saihanba North 45.05 MW Windfarm Project” (0576)
- “MAHARASHTRA, INDIA –Kurkumbh, 1.5 MW Biomass / Bagasse Based Co-generation Power Project” (0581)
- ・条件付登録承認：9件（“Anaconda Landfill Gas Project” (0226)、 “12MW Captive Power Project based on Waste Heat Recovery of Industrial Waste Gases” (0545) 他）
- ・レビュー実施：4件
- < 前回 EB27 レビュー実施案件（計5件）（4桁の数値はプロジェクト参照番号） >
- ・登録承認：2件
 - “ARAPUtanga Centrais Eléctricas S. A. – ARAPUCCEL – Small Hydroelectric Power Plants Project” (0530)
 - “Destruction of HFC-23 at refrigerant (HCFC-22) manufacturing facility of Chemplast Sanmar Ltd” (0499)
- ・登録不承認：3件

【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

- < CER 発行要請レビュー（計4件）（4桁の数値はプロジェクト参照番号） >
- ・発行承認：3件
 - “Emissions reduction through partial substitution of fossil fuel with alternative fuels like agricultural by-products, tyres and municipal solid waste (MSW) in the manufacturing of portland cement at Grasim Industries Limited-Cement division South (GIL-CDS), Tamilnadu, India” (0339) : 22,290CERs
 - “Hapugastenne and Hulu Ganga Small Hydropower Projects” (0085) : 105,902CERs
 - “Optimal Utilization of Clinker” project at Shree Cement Limited (SCL), Beawar, Rajasthan” (0183) : 225,534CERs
- ・発行不承認：1件
 - “Bandeirantes Landfill Gas to Energy Project (BL)” (0164)

4. 出席者

(斜線字は欠席理事)

地域	理事 (Member)	代理理事 (Alternate Member)
附属書 I 国 (附属書 国)	Mr. Hans Jürgen Stehr (デンマーク/エネルギー庁研究開発部部長)	Mr. Lex de Jonge (オランダ/住宅・国土計画・環境省)
" (附属書 国)	Ms. Sushma Gera (カナダ/外務国際貿易省気候変動部部長)	Mr. Akihiro Kuroki 黒木 昭弘 氏 (日本/(財)日本エネルギー経済研究所)
" (西欧その他地域)	Mr. Jean-Jacques Becker (フランス/経済・財政・産業省)	Ms. Gertraud Wollansky (オーストリア/農林・環境・水管理省)
" (東欧地域)	Ms. Anastassia Moskalenko (ロシア/Gazpromenergo Ltd.主任専門家)	-
非附属書 I 国 (非附属書 国)	Mr. Xuedu Lu 呂 学都 氏 (中国/科学技術部 農村社会開発司)	Mr. Richard Muyungi (タンザニア/副大統領府環境部副部長)
" (非附属書 国)	Mr. Hernán Carlino (アルゼンチン/環境・持続的開発庁 気候変動ユニット)	Mr. Philip M. Gwage (ウガンダ/水・土地・環境省 長官補佐)
" (東欧地域)	-	Ms. Natalia Berghi (モルドバ/生態・天然資源省水文気象庁)
" (アフリカ地域)	Mr. John Shaibu Kilani (南アフリカ/カタール石油)	Mr. Ndiaye Cheikh Sylla (セネガル/環境・自然保護省)
" (アジア地域)	Mr. Rajesh Kumar Sethi (インド/環境森林省 気候変動部部長)	Ms. Liana Bratasida (インドネシア/環境省 地球環境・国際協力 担当審議官)
" (ラテンアメリカ・カリブ 地域)	Mr. José Domingos Miguez (ブラジル/科学技術省 地球気候変動 省庁合同委員会)	Mr. Clifford Anthony Mahlun (ジャマイカ/地方政府・環境省 気象庁)
" (小島嶼国地域)	Mr. Rawlestone Moore (バルバドス/気候変動コンサルタント)	Ms. Desna M. Solofa (サモア/外務・貿易省)

オブザーバー参加：約 15 名

第 28 回 CDM 理事会報告

1. 理事会メンバーについて

- ・ 欠席メンバー (2 名): Muyungi 代理理事、Solafa 代理理事
- ・ 今次理事会 (EB28) は 2006 年最後の理事会開催となり、Becker、Gera、Kilani の各理事及び、Wollansky、Sylla、Mahlung、Solafa¹ の各代理理事にとって最後の理事会となる。²

2. 議題の採択

- ・ 原案通り採択

3. ワークプラン

3. (a) 運営組織 (OE) の認定

< 認定パネルの報告 >

- ・ 第 24 回 CDM 認定パネル (CDM-AP24) が 2006 年 12 月 3 日 ~ 5 日に開催され、「CDM 認定パネル第 15 次プログ्रेसレポート (CDM-ACCR-R-15)」が、CDM-AP 議長の Carlino 理事より報告された。

< ガイダンス・手続事項 >

- ・ 理事会は、非締約国 I 国の事業者の認定を促進させるため、認定プロセスにおける費用面での補助について検討を行い、認定パネル (AP) に対し、次回理事会までに更なる検討結果を提出するよう要請した。
- ・ 理事会は、DOE の業務品質基準 (クオリティ・スタンダード) を満たすべく、AP に検討を要請していた、CDM 認定プロセスの下での DOE への定期的な調査システムについての提案について検討を加えた。理事会は定期的な調査を実施することに合意し、AP に対し、トラッキングシステムを含め、手続きプロセスの開発を次回理事会までに提出するよう要請した。

< 各個別事項 >

- ・ 理事会は OE 認定手続きにおいて、4 つの DOE から再認定申請が提出されていること、また EB26 にて提案した 2 つのスポットチェックの進捗状況について留意した。
- ・ 理事会は AP のスポットチェック勧告に対する DOE からの陳述を検討し、陳述 (アピール) パネルの設置を承認した。
- ・ 今次理事会では新規 OE の認定及び、DOE に対する追加のセクトラル・スコープ認定はなされなかった。

3. (b) ベースライン・モニタリング計画の方法論

¹ Solafa 代理理事は COP/MOP1 にて選出されており、2007 年末まで任期が残っているが、任期途中での退任となった。

² 尚、Miguez 理事、Sethi 理事、黒木代理理事、Bratasida 代理理事も今回で任期満了を迎えたが、COP/MOP2 にて再選されたため、2007 年からも理事・代理理事を務めることとなっている。

< 方法論パネルの報告 >

- ・ ベースライン・モニタリング方法論パネル (MP) 副議長の Becker 理事及び Lu 理事が、2006 年 11 月 27 日～12 月 1 日に開催された第 24 回方法論パネル (MP24) の報告を行った。

< 新規方法論 >

- ・ 承認 (A 判定) : 2 件
 - NM0144-rev : “Energy efficiency improvements carried out by an Energy Service Company (ESCO) in Ulaanbaatar, Mongolia to replace old boilers with new ones” **AM0044 : “Energy efficiency improvement projects: boiler rehabilitation or replacement in industrial and district heating sectors”** (セクトラル・スコープ番号 1 (エネルギー産業))(EB28 報告書 [Annex1](#))
 - NM0152-rev : “Celpa, Celtins & Cemata grid connection of isolated systems” **AM0045 : “Grid connection of isolated electricity systems”** (セクトラル・スコープ番号 1 (エネルギー産業)) (EB28 報告書 [Annex2](#))
- ・ 条件付承認 (B 判定) : 8 件
 - NM0161 : “Mondi Gas Turbine Co-generation in Richards Bay, South Africa”
 - NM0170 : “Installation of Carbon Dioxide Recovery (CDR) plant at Indian Farmers Fertiliser Cooperative Ltd (IFFCO), Phulpur Plant”
 - NM0172 : “Methane Leak Reduction From Natural Gas Pipelines”
 - NM0174 : “MSW Incineration Project in Guanzhuang, Tianjin City, China”
 - NM0176 : “Soluciones Nitrous Oxide Abatement Project”
 - NM0181 : “Introduction of a new primary district heating system –Houma District Heating project, Shanxi Province, P.R.C”
 - NM0185 : “Khon Kaen fuel ethanol project”³
 - NM0189 : “Shanghai Bailonggang Sludge Treatment Project”
- ・ 判定なし : 1 件
 - NM0186 : “Increased electricity generation from existing hydropower stations through Decision Support System optimization in Azerbaijan”
(MP24 での審議では A 判定とされていた⁴が、ベースライン設定方法(水力発電(水量計))及び追加性に不備が有るとして、今次 EB28 では判定が下されなかった。⁵)
- ・ その他 (MP24 での予備勧告⁶ : 5 件)(MP24 にてプロジェクト参加者に対し、予備勧告)
 - NM0155-rev : “Waste gas utilization for steam and power generation at RIL Jamnagar refinery”

³ MP24 報告書内では A 判定、B 判定等の勧告は付されていなかったものの、今次 EB28 では B 判定として採択された。

⁴ MP24 報告書 : http://cdm.unfccc.int/Panels/meth/Meth24_rep_ext.pdf

MP24 報告書 Annex3 (Draft reformatted baseline and monitoring methodology based on NM0186-rev) :

http://cdm.unfccc.int/Panels/meth/MP24_repan03_AM00xx_NM0186.pdf

⁵ 審議の中で、当該プロジェクトは季節によって水力発電に用いる水量の変化が大きく、定期的にベースライン設定を見直しながら、プロジェクトを実施するという進め方について、見直しの頻度等について理事間で意見の相違が見られた。Moskalenko 理事は何ら問題を含んでいないと終始主張したが、同意を得られなかった。結局、Stehr 副議長の提案で B (修正要請) や C (不承認) 判定ではなく、今次理事会では判定を行わず、次回 EB29 にて再検討するため、「判定なし」とされた。

⁶ プロジェクト参加者は方法論パネル (MP) からの予備勧告を受け取った後 4 週間以内に、MP に対し追加説明を提出することができる。

- NM0157-rev : “Open-DSM type CDM for Green Lighting in Shijiazhuang city, China”
- NM0159-rev : “Implementation of an Efficiency Testing, Consumer Labeling and Quality-Assurance Program for Air Conditioners in Ghana”
- NM0165-rev : “Feed switchover from Naphtha to Natural Gas (NG) at Phulpur plant of IFFCO”
- NM0192 : “Recovery and utilization of flare waste gases at the Industrial Complex of La Plata Project”

<承認済み方法論の明確化への対応>

- ・承認：2件
 - AM_CLA_0033(AM0001) “Determination of maximum historical annual production in case of two production lines” (EB28 報告書 [Annex3](#))
 - AM_CLA_0034 (ACM0006, AMS-II.B.) “Combined application of ACM0006 & AMS-II.B. following M&P for a large scale project activity is proposed”
- ・条件付承認：1件
 - AM_REV_0027 (ACM0002) “Approach for the exclusion of immaterial parts of a multinational grid”

<承認済み方法論の修正要請>

- ・修正要請承認：9件（修正内容は2006年12月22日より発効）
 - AM0002 (Version 3) : “Greenhouse gas emission reduction through landfill gas capture and flaring where the baseline is established by a public concession contract” (EB28 報告書 [Annex4](#))
 - AM0003 (Version 4) : “Simplified financial analysis for landfill gas capture projects” (EB28 報告書 [Annex5](#))
 - AM0011 (Version 3) : “Landfill gas recovery with electricity generation and no capture or destruction of methane in the baseline scenario” (EB28 報告書 [Annex6](#))
 - AM0013 (Version 4) : “Avoided methane emissions from organic waste-water treatment” (EB28 報告書 [Annex7](#))
 - AM0022 (Version 4) : “Avoided Wastewater and On-site Energy Use Emissions in the Industrial Sector” (EB28 報告書 [Annex8](#))
 - ACM0001 (Version 5) : “Consolidated baseline methodology for landfill gas project activities” (EB28 報告書 [Annex9](#))
 - ACM0008 (Version 3) : “Consolidated baseline methodology for coal bed methane and coal mine methane capture and use for power (electrical or motive) and heat and/or destruction by flaring” (EB28 報告書 [Annex10](#))
 - AM0028 (Version 4) : “Catalytic N2O destruction in the tail gas of Nitric Acid or Caprolactam Production Plants” (EB28 報告書 [Annex11](#))
 - ACM0010 (Version 2) : “Consolidated baseline methodology for GHG emission reduction from manure management systems” (EB28 報告書 [Annex12](#))
- ・修正要請不承認：1件
 - AM0037 : “Flare reduction and gas utilization at oil and gas processing facilities” (適用条件に不備有)

<ガイダンスに関する事項>

- ・「方法論ツール(MT)」(EB28 報告書 [Annex13](#))及び「統合化ツール(CT)」(EB28 報告書 [Annex14](#))の修正を承認。(「追加性証明・評価ツール」に関する検討(CTとの整合性)は次回EB29へ先送り)
- ・プロジェクトの実施が、結果的に生産活動の附属書I国から非附属書I国への移転とつながる事項についての検討は、次回EB29へ先送りとした。
- ・「個別のプロジェクト活動としてのプログラム活動の登録に関するガイダンス(第1版)〔“Guidance on the registration of a programme of activities as a single project activity” (Version 01)〕」を承認した⁷。(EB28 報告書 [Annex15](#))
- ・「承認済み方法論の修正手続(“Procedures for the revision of approved methodologies”)」の改訂を承認した。(EB28 報告書 [Annex16](#))
- ・ダブルカウント(NM0180及びNM0142-rev)の事項に関しては、方法論パネル(MP)にて検討中である旨が報告され、次回EB29以降で検討の予定。

<スケジュール>

- ・次回第25回方法論パネル(MP25)開催日程：2007年1月15日～19日

3.(c) 植林・再植林プロジェクトに関する事項

<植林・再植林ワーキンググループの報告>

- ・植林・再植林ワーキンググループ(AR WG)副議長の黒木代理理事が、2006年12月3日～5日に開催された第11回植林・再植林ワーキンググループ(AR WG11)の報告を行った。

<新規A/R方法論>

- ・承認：1件
 - ARNM0015：“Reforestation as Renewable Source of Wood Supplies for Industrial Use in Brazil”
AR-AM0005：“Afforestation and reforestation project activities implemented for industrial and/or commercial uses”(セクトラル・スコープ番号14(植林・再植林))(EB28 報告書 [Annex17](#))
- ・条件付承認：2件
 - ARNM0026：“Carbon Sequestration in Small and Medium Farms in the Brunca Region, Costa Rica (COOPEAGRI-Project)”
 - ARNM0028：“Reforestation on degraded land for sustainable wood production of woodchips in the eastern coast of the Democratic Republic of Madagascar”
- ・不承認：2件
 - ARNM0013-rev：“The Mountain Pine Ridge Reforestation Project”
 - ARNM0030：“Commercial reforestation on lands dedicated to extensive cattle grazing activities in

⁷ COP/MOP2 決定で、ローカル/地域/国家レベルでの政策や(省エネ等の)基準そのものはCDM活動としては認められないが、そのようなプログラムの下での個別の活動についてはプロジェクトと見なしうるとのことが合意されていたものを受けたもの。

the region of Magdalena Bajo Seco”

<承認済み A/R 方法論の修正要請>

- ・修正要請承認：1件（修正内容は2006年12月23日より発効）
 - AR-AMS0001（Version 4）（EB28 報告書 [Annex18](#)）

<ガイダンスに関する事項>

- ・プロジェクト前 GHG 排出の取扱い（EB22 決定）について、ベースラインシナリオは A/R プロジェクト活動手続規則パラ 22(a)、(c)の内容に一致させることと確認した。
- ・「新 AR 方法論開発のための技術的ガイドライン（“Technical guidelines for the development of new afforestation/reforestation baseline and monitoring methodologies”）」を承認した。（EB28 報告書 [Annex19](#)）
- ・土地適格性の証明のための手続きについて、意見聴取（パブリックコメント）の受付実施を決定した。（2007年1月1日～2月21日）
- ・各種様式の改訂
 - PDD 記入ガイドライン（CDM-AR-PDD）、方法論ガイドライン（CDM-AR-NM）の改訂を承認した。（EB28 報告書 [Annex27](#)）
- ・プロジェクト実施に伴う、プロジェクトバウンダリー外での GHG 排出増や商品の価格変動の影響、需要と供給等の影響を盛り込んだ「マーケットリーケージ（“market leakage”）」を AR CDM プロジェクトには適用しないことを決定した。
- ・小規模 AR CDM プロジェクトの上限値（8ktCO_{2e}/年）の見直しに関して、COP/MOP2 要請（SBSTA26 での議論のため、各国、国際機関、NGO からの意見提出を2007年2月23日まで受付）を確認した。

<スケジュール>

- ・次回、第12回植林・再植林ワーキンググループ（AR WG12）開催スケジュール：2007年1月29日～31日⁸

3. (d) 小規模 CDM（SSC）プロジェクトに関する事項

<小規模 CDM ワーキンググループの報告>

- ・小規模 CDM ワーキンググループ（SSC WG）議長の Wollansky 代理理事が、2006年12月4日～6日に開催された第8回小規模 CDM ワーキンググループ（SSC WG08）の報告を行った。

<新規 SSC 方法論>

- ・承認：1件
 - SSC_059、SSC_053、AM0041：“Mitigation of Methane Emissions in the Wood Carbonization Activity for Charcoal Production” AMS III.K.：“Avoidance of methane release from charcoal

⁸ 当初は1月に AR WG 開催は予定されていなかったが、業務量の増大から追加開催が決定された。

production by shifting from pit method to mechanized charcoaling process” (セクトラル・スコープ番号 4 (製造業))(EB28 報告書 [Annex20](#))

<承認済み SSC 方法論の修正要請>

- ・修正要請承認：11 件 (修正内容は 2006 年 12 月 22 日より発効)
 - AMS III.G. (Version 4)(EB28 報告書 [Annex21](#))
 - AMS I.D. (Version 10)(EB28 報告書 [Annex22](#))
 - AMS I.C. (Version 9)(EB28 報告書 [Annex23](#))
 - AMS I.A. (Version 9)(EB28 報告書 [Annex24](#))
 - AMS II.D. (Version 8)(EB28 報告書 [Annex25](#))
 - AMS III.H. (Version 4)(EB28 報告書 [Annex26](#))
 - AMS III.I. (Version 4)(EB28 報告書 [Annex27](#))
 - AMS III.F. (Version 3)(EB28 報告書 [Annex28](#))
 - AMS II.C. (Version 8)(EB28 報告書 [Annex29](#))
 - AMS II.E. (Version 8)(EB28 報告書 [Annex30](#))
 - AMS II.F. (Version 8)(EB28 報告書 [Annex31](#))

<ガイダンスに関する事項>

- ・新タイプ III カテゴリーの開発作業の停止を決定した。(当面の措置として規定されていたタイプ III カテゴリーの制限値 (25ktCO₂e/年) について、COP/MOP2 決定を受け、制限値の廃止を決定)
- ・「CDM 用語集」の修正を承認した。(“Retrofit”、“A project activity with more than one component”についての定義等を追加)(EB28 報告書 [Annex32](#))
- ・同じタイプの属するプロジェクトサイズは小規模 CDM の上限値を超えてはならないことに合意した。(タイプ I：15MW、タイプ II：60GWh/年、タイプ III：60ktCO₂e)
- ・各種様式の改訂
 - 記入ガイドライン(CDM-SSC-PDD、F-CDM-SSC-Subm)の改訂を承認(EB28 報告書 [Annex33](#))
 - PDD 様式 (CDM-SSC-PDD) の改訂を承認 (EB28 報告書 [Annex31](#))
- ・バイオマスプロジェクトのリーケージに関するガイダンスの修正を承認した。(EB28 報告書 [Annex35](#))
- ・非再生可能バイオマスから再生可能バイオマスプロジェクトへの転換に関し、COP/MOP2 からの検討要請を留意した。(意見聴取 (パブリックコメント) を 2007 年 1 月 15 日から 4 月 16 日まで受付、その後 SSC WG で検討した後、EB32 で審議予定)

<スケジュール>

- ・次回、第 9 回小規模 CDM ワーキンググループ (SSC WG09) 開催スケジュール：2007 年 3 月 18 日～20 日

3. (d) CDM プロジェクトの登録に関する事項

<プロジェクト登録数>

- ・2006年12月15日現在、435のプロジェクトが登録されている⁹。

<プロジェクト登録>

<レビュー要請案件(20件)(4桁の数値はプロジェクト参照番号、[]内は担当DOE名)>

・登録承認：7件

- “Onyx Alexandria Landfill Gas Capture and Flaring Project” (0508) [SGS]
- “OSIL –Waste Heat Recovery Based Captive Power Project” (0515) [TÜV Rheinland]
- “Saihanba East 45.05 MW Windfarm Project” (0561) [DNVCert]
- “11.35 MW Grid Connected Wind Electricity Project at Pohra (Rajasthan) in India” (0570) [BVQI]
- “10.6 MW wind farm at Village Badabagh, District Jaisalmer, Rajasthan” (0571) [BVQI]
- “Saihanba North 45.05 MW Windfarm Project” (0576) [DNVCert]
- “MAHARASHTRA, INDIA –Kurkumbh, 1.5 MW Biomass / Bagasse Based Co-generation Power Project” (0581) [RWTUV]

・条件付登録承認：6件

- “Anaconda Landfill Gas Project” (0226) [DNVCert] (追加のPDD附属書類の再提出が必要)
- “Repowering Small Hydro Plants (SHP) in the State of Sao Paulo, Brazil” (0489) [SGS] (修正済みPDD、有効化審査報告書に関して、ホスト国(ブラジル)DNAからの新たな承認レターの再発行が必要)
- “AWMS Methan Recovery Project MX06-S-35, Jalisco and Michoacan, Mexico” (0538) [TÜV SÜD] (修正済みPDD、有効化審査報告書の再提出が必要)
- “AWMS Methan Recovery Project MX06-S-42, Guanajuato, Michoacan, and Queretaro, Mexico” (0542) [TÜV SÜD] (修正済みPDD、有効化審査報告書の再提出が必要)
- “Durban Landfill-gas-to-electricity project –Mariannahill and La Mercy Landfills” (0545) [TÜV SÜD] (修正済みPDD、有効化審査報告書の再提出が必要)
- “12MW Captive Power Project based on Waste Heat Recovery of Industrial Waste Gases” (0545) [DNVCert] (内部利益率(IRR)算定の再提出が必要)

・修正条件付登録承認：3件

- “Installation of Additional Urea Trays in Urea Reactors (11/21-R01)” (0587) [DNVCert] (レビュー要請に基づき、且つ有効化審査報告書内容及びAMS-II.D.方法論と一致した修正済みPDDの再提出が必要)
- “Shalivahana Non-Conventional Renewable Sources Biomass Power Project” (0591) [DNVCert] (有効化審査報告書内容と一致したバイオマスタイプのモニタリング計画が盛り込まれたPDDの再提出が必要)
- “Paramount Integrated Corporation Methane Recovery and Electricity Generation” (0605) [DNVCert] (レビュー要請に基づいて修正されたPDDと一致した修正済み有効化審査報告書の再提出が必要)

・レビュー実施：4件

- “Ramirana Emission Reduction Project of Agricola Super Limitada” (0457) [DNVCert] (EB28報告書 [Annex36](#))
- “AWMS Methane Recovery Project MX06-B-32, Aguascalientes, Guanajuato and Michoacan,

⁹ CDMプロジェクトの登録状況については UNFCCC ウェブサイト (<http://cdm.unfccc.int/Projects/>) にて閲覧可能。

Mexico” (0463) [TÜV SÜD]

(EB28 報告書 [Annex37](#))

- “Bii Nee Stipa III” (0517) [AENOR]
(EB28 報告書 [Annex38](#))
- “16 MW Bagasse based cogeneration plant by GMR Industries Ltd. (GIDL)” (0552) [SGS]
(EB28 報告書 [Annex39](#))

< 前回 EB27 にてレビューが実施された案件 (5 件) >

・登録承認：2 件

- “ARAPUtanga Centrais Elébricas S. A. – ARAPUCCEL – Small Hydroelectric Power Plants Project” (0530) [TÜV SÜD]
- “Destruction of HFC-23 at refrigerant (HCFC-22) manufacturing facility of Chemplast Sanmar Ltd” (0499) [DNVCert]

・登録不承認：3 件

- “Increasing the Additive Blend in cement production by Jaiprakash Associations Ltd.” (0454) [DNVCert]
(不承認理由：「追加性の要件」(CDM 手続規則パラ 43 ~ 52) を満たしていることが立証されていない)
- “6.6 MW Sheshadri Iyer Mini Hydel Power project of Atria Hydel Power Limited at Malavalli Taluk, Mandya District, Kamataka” (0522) [BVQI]
(不承認理由：「追加性の要件」(CDM 手続規則パラ 43 ~ 52) を満たしていることが立証されていない)
- “Cogeneration system based on biomass (rice-husk) replacing oil fired boiler for process steam and generating power for partly replacement of grid power supply to the plant at M/s Indian Acrylics Ltd., Disrtict Sangrur, Punjab, India” (0348) [TÜV Rheinland]
(不承認理由：当該プロジェクトは、登録済みプロジェクトである“6.5 MW biomass based (rice husk) power generation by M/s Indian Acrylics Ltd. and replacement of electrical power being imported from state electricity grid/surplus power supply to grid”(0341)のデバンドリング構成プロジェクトの一つと見なされ、また小規模 CDM 手続規則パラ 12(C)の要件を満たしていないため。

< 登録手続に関する事項 >

- ・「クレジット期間の更新に関する手続 (The procedures for renewal of a crediting period)」を採択 (EB28 報告書 [Annex40](#))
- ・プロジェクト登録締切日の変更 (2006 年 12 月 31 日 2007 年 3 月 31 日) 承認 (「決定/CMP.2 パラ 4 (CDM の追加的ガイダンス)」に基づく措置)

< ガイダンスに関する事項 >

- ・「CDM 手続規則パラ 41 に関するレビュー手続の明確化 (Clarifications on the procedures for review as referred to in paragraph 41 of the CDM modalities and procedures)」を採択 (EB28 報告書 [Annex41](#))

3. f) CER 発行及び CDM 登録簿 (レジストリ) に関する事項**< CER 発行数 >**

- ・2006年12月15日現在、23,376,891 CERs が発行されている。¹⁰

< CER 発行要請レビュー >**< レビュー要請案件 (2件) (4桁の数値はプロジェクト参照番号) >**

- ・発行承認：2件
 - “Bundled Wind power project in Jaisalmer (Rajasthan in India) managed by Enercon (India) Ltd.” (0310) (DOE は BVQI) (162,638 CERs)
 - “HFC Decomposition Project in Ulsan” (0003) (DOE は DNV) (477,341 CERs)

< 前回 EB26 で再検討 (under review) と判断された案件 3件について >

- ・発行承認：1件
 - “Hapugastenne and Hulu Ganga Small Hydropower Projects” (0085) (DOE は DNV)
- ・発行不承認：2件
 - “AWMS GHG Mitigation Project, MX05-B-07, Sonora, Mexico” (0150) (DOE は DNV)
 - “AWMS GHG Mitigation Project, MX05-B-09, Nuevo Leon, Mexico” (0183) (DOE は DNV)

< ガイダンス・手続事項 >

- ・「レビューに関する手続きの明確化を記した CDM 手続規則パラグラフ 65 (Clarifications on the procedures for review referred to in paragraph 65 of the modalities and procedures for a clean development mechanisms)」を採択。(EB28 報告書 [Annex42](#))
- ・理事会は不承認となった CER 発行要請についての再申請について検討を行った。修正された有効化審査報告書、モニタリング報告書が原因となったケースに関しては、必要に応じて DOE が理由を説明、修正 CER 発行要請を提出する機会を設けることを認めた。また、修正 CER 発行要請が提出された場合には、ケースバイケースで審議を行うこととすることを確認した。但し、修正 CER 発行要請が承認されなかった場合、3度目の提出は認められないことも確認した。(修正提出は1度まで)

3. g) 補助機関 (SB) との協働

- ・科学的、技術的な助言に関する補助機関 (SBSTA)¹¹を Miguez 議長が、条約実施に関する補助機関 (SBI)¹²を Moskalenko 理事及び Sethi 理事が引き続き交渉に当たることを要請した。

4. CDM 管理計画及び予算に関する事項**< CDM 管理計画 (CDM-MAP) >**

- ・COP/MOP2 決定 (決定/CMP.2 パラ 6~10) を受け、CDM-MAP を必要に応じてアップデートさせて

¹⁰ CER 発行状況については UNFCCC ウェブサイト (<http://cdm.unfccc.int/Issuance/>) にて閲覧可能。

¹¹ 新規 HCFC-22 製造工場から発生する HFC23 の削減を CER としてカウントしないこと等が主要議題

¹² 国際取引ログ (ITL) 設立の進捗 (2007 年上半期に各国登録簿との接続テストを終え、下半期に稼働開始を目指している) 等が主要議題

いくことに留意

- ・決定目録 (Catalogue of Decisions) の運用テストが 2007 年 2 月より開始され、2007 年下半期には稼動 (公開) される予定

< 予算 >

- ・オーストリア、エストニア、ドイツ、ノルウェー、スペイン、スウェーデンからの拠出金を受領 (EB27 (11/1) から EB28 (12/14) の期間) (収支状況の詳細は、EB28 報告書 [Annex43](#) 参照)

5. その他

5. (a) COP/MOP ガイダンス

- ・理事会は、COP/MOP2 にて採択された、決定/CMP.2 「CDM に関する更なるガイダンス (“Further guidance to the clean development mechanisms”)」に留意した。

5. (b) DNA との関係

- ・第 2 回 CDM DNA フォーラム非公式会合 (2006 年 11 月 13 日、ナイロビ) が開催されたことが事務局より報告。
- ・2007 年度に 2 ~ 3 回の DNA フォーラムの開催を予定していることが、事務局より報告。(2007 年 5 月の SB、12 月の COP/MOP3 との共催に加え、アフリカでの DNA フォーラムの開催について検討中 (予算状況次第))

5. (c) プロジェクトの地域分布

- ・理事会は、CDM プロジェクトの地域分布に関する COP/MOP2 決定 (決定/CMP.2 パラ 31 ~ 42) を留意し、国連事務総長提案の「ナイロビ・フレームワーク」がアフリカ地域への CDM 実施促進につながるものとして歓迎した。

5. (d) DOE/AE との関係

- ・理事会は、DOE/AE コーディネーションフォーラム¹³議長である Werner Betzenbichler 氏 (TÜV SÜD) を招聘し、DOE/AE の見解等の口頭報告を受けた。
- ・理事会は DOE/AE コーディネーションフォーラムに対し、必要に応じて、理事会や各パネル及びワーキンググループに対して、意見や情報の提供を奨励した。

5. (e) 利害関係者・各国・NGO との関係

- ・12 月 15 日 (EB28 最終日) 午後、理事会とオブザーバーとの間で質疑応答セッションが行われた。
- ・次回 EB29 オブザーバー出席申込締切 : 2007 年 1 月 24 日 (17 : 00 GMT)

¹³ 第 5 回 DOE/AE コーディネーションフォーラムは EB28 開催前の 12 月第 2 週目にベルリンにて開催されたとのこと。

5. (f) その他

< 次回理事会開催スケジュール >

- ・次回 EB29 は 2007 年 2 月 14 日～16 日に、ドイツ・ボン (UNFCCC 事務局) にて開催の予定。(EB29 議題案: EB28 報告書 [Annex44](#)) (非公開討議: 2 月 14 日、公開討議: 2 月 15 日～16 日)

< 2007 年度理事会開催スケジュール >

- ・2007 年度の理事会開催暫定スケジュールは以下の通り (日程は EB26 にて発表)

EB	日程 (2007 年)	場所・備考
EB29	2 月 14 日～16 日	ボン (UNFCCC 事務局)
EB30	3 月 21 日～23 日	ボン (UNFCCC 事務局)
EB31	5 月 2 日～4 日	ボン (UNFCCC 事務局) <SB26 との共催>
EB32	6 月 20 日～22 日	ボン (UNFCCC 事務局)
EB33	7 月 25 日～27 日	ボン (UNFCCC 事務局)
EB34	9 月 12 日～14 日	ボン (UNFCCC 事務局)
EB35	10 月 17 日～19 日	ボン (UNFCCC 事務局)
EB36	11 月 28 日～30 日	インドネシア・バリ予定 <COP/MOP3 との共催>

6. 閉会

- ・今次理事会を最後に退任する理事、代理理事に対し、Miguez 議長より賛辞の言葉が送られた。また Kilani 理事 (南アフリカ)、Gera 理事 (カナダ)、Becker 理事 (フランス)、Wollansky 理事 (オーストリア) より退任の挨拶があり、Kilani 理事、Gera 理事は多忙な理事会関連の業務から解放されることを喜ぶ一方、理事会での高度な知的作業や、同じく共に作業を進めてきた理事達と離れるのは寂しくなるだろう等と語った。

QA セッション

- ・12 月 15 日 (EB28 最終日) 午後、理事会とオブザーバーとの間で質疑応答セッションが行われた。主な討議内容は以下の通り。

Q1 (IETA)

同一企業、コンソーシアムによるプログラム CDM は実施可能か？

A1-1 (Miguez 議長)

プログラム CDM については、まだイニシャルステージの途上であり、今後様々な懸案事項を片付ける必要がある。国内で異なる企業が関連する案件等、詳細については今後検討を重ねていく。

A1-2 (Sethi 理事)

同一企業、コンソーシアムによるプログラム CDM は、テクニカルには実施可能だと思うが、全く同じ地域で実施するのは難しいと思う。

Q2 (IETA)

クレジット期間の更新について、小規模 CDM にも適用されるのか？

A2-1 (Miguez 議長)

方法論パネルでは制約を設けていないので、我々 EB としては何もコメントする立場にない。

A2-2 (Sethi 理事)

(Miguez 議長のコメントには若干反対だが、) 適用されるものと考えている。

Q3 (コンサルタント)

DOE から理事会宛に提出された各種意見やコメント等について、ネットワーク上で理事会メンバーは閲覧できると思うが、RIT メンバーへのアクセスが限られているのは問題だと思う。

A3 (Miguez 議長)

理事会として対策を検討したい。

Q4 (コンサルタント)

1 つのプロジェクトをクレジット期間終了後の 7 年後に、またクレジット期間終了を待たずに別の事業者が引き継いだ場合、どのような取り扱いとなるのか？

A4 (Miguez 議長)

現時点でそのようなケースを想定した取扱いは定めていない。今後注意深く検討を行っていきたい。

以上

(文責：家本 了誌)